

ルワンダ大虐殺から四半世紀 —2020年パラリンピックを目指して

地域共生推進機構多文化共生・国際交流部門においては、本学学生および地域住民の、障害者支援に対する関心と認識の喚起あるいは深化を目的として、「ルワンダ大虐殺から四半世紀—2020年パラリンピックを目指して」の開催を企画いたしました。入場無料となっておりますので、是非ご参加ください。

日時:平成30年12月6日(木) 15時30分~17時

会場:東北学院大学土樋キャンパス 8号館 5階押川記念ホール

講師紹介

ルダシングワ・ガテラ・エマニュエル

ルダシングワ（吉田）真美（ONE LOVE共同代表）

1994年、アフリカの中部にあるルワンダで起こった大虐殺の被害者、その他の障がい者支援などを行っているNPOを主宰する方のお話を伺います。

（「ムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクト」HPより）

ルワンダでは、ヨーロッパ諸国の植民地政策という間違っただけの政治のために、国民を分けられ、憎しみの感情を教えられ、その結果国民同士が殺し合う悲劇が起きました。

大虐殺の時に失われたものを取り戻すために、ルワンダの人々は努力を続けています。しかし、そんな今も、世界のどこかで争いは続いています。地球上には、たくさんの人々が暮らしています。見た目はみな違います。お互いがその違いを認めた上で、相手を尊敬すれば、無駄な争いはなくなるのではないのでしょうか？

右下の写真は、Nyamata教会の言葉を写したのですが、「隣人を理解していれば、悲劇は起こらなかったであろう」という意味です。ルワンダでは、分けられてしまった国民が争うことによって、多くの血が流されました。そんな悲劇が2度と起こらないように願いを込めて、私たちは「ワンラブ—ひとつになって愛し合おう」と言う名前を付けました。

そしてルワンダの傷ついた人たちが、肉体的・精神的・経済的に自立できるよう、応援しています。これからも少しでも平和な世界になるように、私たちは地球上の人たちと力を合わせていきたいと思っています。



**事前申込不要
入場無料**

■お問い合わせ先

東北学院大学地域共生推進機構（学長室地域共生推進課）

〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3-1

TEL.022-264-6562 FAX.022-264-6522

E-mail: kikou@staff.tohoku-gakuin.ac.jp